

公 開
資 料 2

第 3 5 7 回 幹 事 会
諸 報 告 事 項

令和5年10月27日

日 本 学 術 会 議

Ⅱ 諸 報 告 事 項

ページ

第 1	第 354 回幹事会以降の経過報告	
1	会長等出席行事	3
2	委員の辞任	3
第 2	各部・各委員会等報告	
1	部会の開催とその議題	3
2	幹事会附置委員会の開催とその議題	4
3	機能別委員会の開催とその議題	4
4	分野別委員会の開催とその議題	4
5	課題別委員会の開催とその議題	13
6	若手アカデミーの開催とその議題	13
7	連絡会議の開催とその議題	13
8	サイエンスカフェの開催	13
9	記録	13
10	総合科学技術・イノベーション会議報告	13
11	慶弔	14
12	意思の表出に係る報告	14
13	意思の表出（英訳版）に係る報告	14
14	インパクト・レポート	14

第1. 第354回幹事会以降の経過報告

1 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
10月2日(月) ～4日(水)	日本学術会議第189回総会	光石会長 三枝副会長 磯副会長 日比谷副会長
10月3日(火)	英国政府首席科学アドバイザーとの面会	光石会長
10月4日(水)	レオポルディーナ会長との面会	光石会長 日比谷副会長
10月5日(木)	フィンランド科学文学アカデミー会長との面会	光石会長
10月17日(火)	松村内閣府特命担当大臣(防災、海洋政策)との面会	光石会長 磯副会長 日比谷副会長
10月23日(月)	フランス科学アカデミー会長・副会長とのバイ会談(オンライン)	光石会長 日比谷副会長
10月23日(月)	イタリアリンチェイ国立アカデミー会長とのバイ会談(オンライン)	光石会長 日比谷副会長

注) 部会、委員会等を除く。

2 委員の辞任

なし

第2. 各部・各委員会等報告

1 部会の開催とその議題

(1) 第一部会(第1回)(10月3日)

- ① 自己紹介
- ② 部長の互選について
- ③ 部長による副部長、幹事の指名及び同意について
- ④ 第25期第一部からの申し送り事項について
- ⑤ 分野別委員会の委員について
- ⑥ 分科会のあり方等について
- ⑦ 新連携会員説明会の日程について
- ⑧ その他

(2) 第二部会(第1回)(10月3日)

- ① 部長の互選について

- ② 部長による副部長、幹事の指名
- ③ 分野別委員会の委員について
- ④ 分科会のあり方等について
- ⑤ 連携会員説明会の日程について
- ⑥ その他

(3) **第三部会(第1回)** (10月3日)

- ① 部長の互選について
- ② 部長による副部長、幹事の指名
- ③ 分野別委員会の委員について
- ④ 分科会のあり方等について
- ⑤ 第26期第三部への申し送り事項
- ⑥ 連携会員説明会の日程について
- ⑦ その他

(4) **第二部役員会(第1回)** (10月27日)

- ① 予算執行状況
- ② 第26期における予算執行方針
- ③ 分科会の設置等について
- ④ 第二部会員間における連絡先共有について
- ⑤ その他

2 幹事会附置委員会の開催とその議題

なし

3 機能別委員会の開催とその議題

なし

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

(1) **経営学委員会(第1回)** (10月3日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑤ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑥ 連携会員説明会について
- ⑦ その他

(2) 言語・文学委員会 (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※社会学委員会、史学委員会のみ)
- ⑤ 加盟国際学術団体対応分科会の委員名簿の承認について
(※史学委員会、経済学委員会のみ)
- ⑥ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑦ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑧ 連携会員説明会について
- ⑨ その他

(3) 哲学委員会 (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※社会学委員会、史学委員会のみ)
- ⑤ 加盟国際学術団体対応分科会の委員名簿の承認について
(※史学委員会、経済学委員会のみ)
- ⑥ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑧ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑨ 連携会員説明会について
- ⑨ その他

(4) 心理学・教育学委員会 (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※社会学委員会、史学委員会のみ)
- ⑤ 加盟国際学術団体対応分科会の委員名簿の承認について
(※史学委員会、経済学委員会のみ)
- ⑥ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑦ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑧ 連携会員説明会について
- ⑨ その他

(5) 社会学委員会 (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出

- ② 第26期分科会のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※社会学委員会、史学委員会のみ)
- ⑤ 加盟国際学術団体対応分科会の委員名簿の承認について
(※史学委員会、経済学委員会のみ)
- ⑥ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑦ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑧ 連携会員説明会について
- ⑨ その他

(6) **史学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※社会学委員会、史学委員会のみ)
- ⑤ 加盟国際学術団体対応分科会の委員名簿の承認について
(※史学委員会、経済学委員会のみ)
- ⑥ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑦ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑧ 連携会員説明会について
- ⑨ その他

(7) **地域研究委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑤ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑥ 連携会員説明会について
- ⑦ その他

(8) **法学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑤ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑥ 連携会員説明会について
- ⑦ その他

(9) 政治学委員会 (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑤ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑥ 連携会員説明会について
- ⑦ その他

(10) 経済学委員会 (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 加盟国際学術団体対応分科会の委員名簿の承認について
- ⑤ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑥ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑦ 連携会員説明会について
- ⑧ その他

第二部担当

(1) 基礎生物学委員会 (第1回)、統合生物学委員会 (第1回) 合同会議 (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
- ⑤ 加盟国際学術団体対応分科会の委員名簿の承認について
- ⑥ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑦ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑧ 連携会員説明会について
- ⑨ その他

(2) 農学委員会 (第1回)、食料科学委員会 (第1回) 合同会議 (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
- ⑤ 加盟国際学術団体対応分科会の委員名簿の承認について
- ⑥ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑦ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑧ 連携会員説明会について
- ⑨ その他

(3) **基礎医学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑤ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑥ 連携会員説明会について
- ⑦ その他

(4) **臨床医学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑤ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑥ 連携会員説明会について
- ⑦ その他

(5) **健康・生活科学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑤ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑥ 連携会員説明会について
- ⑦ その他

(6) **歯学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑤ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑥ 連携会員説明会について
- ⑦ その他

(7) **薬学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 日本学術会議会則第27条第2項の取扱いについて
- ④ 議事要旨の提出に関する委員長一任について

- ⑤ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑥ 連携会員説明会について
- ⑦ その他

(8) **歯学委員会** (第2回) (10月17日)

- ① 歯学委員会の追加委員の件
- ② 第26期における歯学委員会・分科会のあり方と今後の議論について
- ③ その他

第三部担当

(1) **環境学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ④ 加盟国際学術団体対応分科会・小委員会の委員名簿の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ⑤ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑥ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑦ 連携会員説明会について
- ⑧ その他

(2) **数理学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ④ 加盟国際学術団体対応分科会・小委員会の委員名簿の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ⑤ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑥ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑦ 連携会員説明会について
- ⑧ その他

(3) **物理学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ④ 加盟国際学術団体対応分科会・小委員会の委員名簿の承認について
(※該当する委員会のみ)

- ⑤ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑥ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑦ 連携会員説明会について
- ⑧ その他

(4) **地球惑星科学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ④ 加盟国際学術団体対応分科会・小委員会の委員名簿の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ⑤ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑥ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑦ 連携会員説明会について
- ⑧ その他

(5) **情報学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ④ 加盟国際学術団体対応分科会・小委員会の委員名簿の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ⑤ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑥ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑦ 連携会員説明会について
- ⑧ その他

(6) **化学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ④ 加盟国際学術団体対応分科会・小委員会の委員名簿の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ⑤ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑥ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑦ 連携会員説明会について
- ⑧ その他

(7) **総合工学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ④ 加盟国際学術団体対応分科会・小委員会の委員名簿の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ⑤ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑥ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑦ 連携会員説明会について
- ⑧ その他

(8) **機械工学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ④ 加盟国際学術団体対応分科会・小委員会の委員名簿の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ⑤ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑥ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑦ 連携会員説明会について
- ⑧ その他

(9) **電気電子工学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ④ 加盟国際学術団体対応分科会・小委員会の委員名簿の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ⑤ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑥ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑦ 連携会員説明会について
- ⑧ その他

(10) **土木工学・建築学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※該当する委員会のみ)

- ④ 加盟国際学術団体対応分科会・小委員会の委員名簿の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ⑤ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑥ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑦ 連携会員説明会について
- ⑧ その他

(11) **材料工学委員会** (第1回) (10月4日)

- ① 役員の選出
- ② 第26期分科会等のあり方について
- ③ 第189回総会中に早期設置する分科会の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ④ 加盟国際学術団体対応分科会・小委員会の委員名簿の承認について
(※該当する委員会のみ)
- ⑤ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑥ 委員会委員間のメールアドレス共有について
- ⑦ 連携会員説明会について
- ⑧ その他

(12) **地球惑星科学委員会 IGU 分科会** (第1回) (10月10日)

- ① 役員の選出について
- ② 委員の追加について
- ③ 小委員会の設置について
- ④ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ⑤ 分科会委員間のメールアドレス共有について
- ⑥ その他

(13) **機械工学委員会・総合工学委員会・土木工学・建築学委員会合同理論応用力学分科会** (第1回) (10月16日)

- ① 分科会の活動について
- ② 役員の選出
- ③ 第25期の活動のまとめと第26期の活動方針について
- ④ 小委員会の設置について
- ⑤ 理論応用力学講演会の企画・開催について
- ⑥ 理論応用力学シンポジウムについて
- ⑦ その他
 - i) 議事要旨の提出に関する委員長一任について
 - ii) 分科会委員会のメールアドレス共有について

(14) 地球惑星科学委員会（第2回）・同委員会地球惑星科学国際連携分科会（第1回）
合同会議（10月27日）

- ・地球惑星科学委員会
 - ① 分科会の設置申請について
 - ② JpGUのユニオンセッション提案について
 - ③ 連携会員説明会について
 - ④ JpGU事務局との申し合わせについて
 - ⑤ その他
- ・地球惑星科学国際連携分科会
 - ① 第26期役員決定について
 - ② 議事要旨の提出に関する委員長一任について
 - ③ 分科会委員間のメールアドレス共有について
 - ④ 小委員会名簿の承認について
 - ⑤ 分科会委員の追加について
 - ⑥ その他

5 課題別委員会の開催とその議題

なし

6 若手アカデミーの開催とその議題

なし

7 連絡会議の開催とその議題

なし

8 サイエンスカフェの開催

なし

9 記録

なし

10 総合科学技術・イノベーション会議報告

1. 本会議

なし

2. 専門調査会

なし

3. 有識者議員会合

10月19日（木）（オンライン）

1 1 慶弔

なし

1 2 意思の表出に係る報告

なし

1 3 意思の表出（英訳版）に係る報告（P15以降参照）

（1）若手アカデミー（日本語見解：2023年9月28日公表）

見解「2040年の科学・学術と社会を見据えていま取り組むべき10の課題」

「Remodeling science and society for the next 20 years: Ten recommendations from Young Academy of Japan」

1 4 インパクト・レポート

なし

Advisory Opinion

Remodeling science and society for the next 20 years:
Ten recommendations from Young Academy of Japan



Young Academy of Japan, Science Council of Japan

Sep 28th 2023

The original was written in Japanese and SCJ provides English version of the Executive Summary for non-Japanese readers.

This advisory opinion summarizes and publishes the results of the deliberations of Young Academy of Japan, Science Council of Japan.

Young Academy of Japan

Chair	Wataru Iwasaki	(Associate Member)	Professor, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo
Vice-chair	Nina Yasuda	(Associate Member)	Professor, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo
Secretary	Haruka Ono	(Associate Member)	Advisor to the President, Toyohashi University of Technology; Associate Professor, Graduate School of Engineering, Toyohashi University of Technology
Secretary	Manabu Matsunaka	(Associate Member)	Professor, Graduate School of Law, Nagoya University
	Asano Ishikawa	(Associate Member)	Associate Professor, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo
	Shinsuke Imada	(Associate Member)	Professor, Department of Earth and Planetary Science, Graduate School of Science, The University of Tokyo
	Naoki Irie	(Associate Member)	Professor, Research Center for Integrative Evolutionary Science, SOKENDAI
	Rie Iwanaga	(Associate Member)	Professor, Department of Social Welfare, Faculty of Human Sociology, Japan Women's University
	Makoto Iwamura	(Associate Member)	Distinguished Researcher, NTT Security (Japan) KK
	Sotaro Uemura	(Associate Member)	Professor, Graduate School of Science, The University of Tokyo
	Motomu Endo	(Associate Member)	Professor, Nara Institute of Science and Technology, Nara, Japan
	Ryosuke Endo	(Associate Member)	Lecturer, Graduate School of Agriculture, Osaka Metropolitan University
	Hisae Kasai	(Associate Member)	Associate Professor, Graduate School of Fisheries Science, Hokkaido University
	Chihiro Kato	(Associate Member)	Associate Professor, Faculty of Agriculture and Life Science, Hirosaki University
	Shinsuke Kawagucci	(Associate Member)	Research Institute for Global Change (RIGC), Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology (JAMSTEC)
	Akihiro Kishimura	(Associate Member)	Associate Professor, Department of Applied Chemistry, Faculty of Engineering, Kyushu University; Center for Molecular Systems, Kyushu University
	Daisuke Komori	(Associate Member)	Specially Appointed Professor, Green Goals Initiative, Tohoku University
	Yasuhisa Kondo	(Associate Member)	Associate Professor, Research Institute for Humanity and Nature, National Institutes for the Humanities
	Nami Sakai	(Associate Member)	Senior Researcher, RIKEN National Institute of Physical and Chemical Research
	Kana Sasakura	(Associate Member)	Professor, Faculty of Law, Konan University
	Wakako Sanefuji	(Associate Member)	Associate Professor, Faculty of Human Environment Studies, Kyushu University
	Yoko Shimpuku	(Associate Member)	Vice President, Hiroshima University; Professor, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University
	Masayo Soma	(Associate Member)	Associate Professor, Department of Biological

		Sciences, Faculty of Science, Hokkaido University
Akira Tai	(Associate Member)	Associate Professor, Faculty of Social and Environmental Studies, Fukuoka Institute of Technology
Kenkichi Takase	(Associate Member)	Professor, Department of Psychology, Graduate School of Letters, Chuo University
Tomomi Takada	(Associate Member)	Professor, Graduate School of Business Administration, Kobe University
Yasuo Takatsuki	(Associate Member)	Associate Professor, Research Institute for Economics and Business Administration, Kobe University
Tomonari Takeda	(Associate Member)	Associate Professor, Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University
Hitomi Takemura	(Associate Member)	Professor, Graduate School of Law, Hitotsubashi University
Taisuke Tsuchiya	(Associate Member)	Associate Professor, Faculty of Economic Sciences, Niigata University
Masanori Tohno	(Associate Member)	Senior Researcher, National Agriculture and Food Research Organization, Research Center for Genetic Resources and Livestock Research Division, Research Division of Fundamental Technology, National Institute of Agro-Food Science and Technology
Yoriko Tominaga	(Associate Member)	Associate Professor, Graduate School of Advanced Science and Engineering, Hiroshima University
Yumiko Nakajima	(Associate Member)	Professor, School of Materials Science and Engineering, Tokyo Institute of Technology
Waka Nakanishi	(Associate Member)	Senior Researcher, Polymer and Biomaterials Research Center, National Institute for Materials Science
Kazuyoshi Nishijima	(Associate Member)	Associate Professor, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University
Satoko Fujioka	(Associate Member)	Associate Professor, Department of Applied Chemistry, Faculty of Science and Technology, Keio University
Tomoki Maekawa	(Associate Member)	Research Professor, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Center for Education and Research on Advanced Oral Function, Niigata University
Kouta Minamizawa	(Associate Member)	Professor, Graduate School of Media Design, Keio University
Akira S Mori	(Associate Member)	Professor, Research Center for Advanced Science and Technology, The University of Tokyo
Nozomu Yachie	(Associate Member)	Associate Professor, School of Biomedical Engineering, The University of British Columbia; Visiting Professor, Research Centre for Advanced Science and Technology, The University of Tokyo
Miyae Yamakawa	(Associate Member)	Associate Professor, Graduate School of Medicine, Osaka University
Asuka Yamada	(Associate Member)	Professor, Department of Architecture, School of Science for Future Life, Tokyo Denki University
Naoko Yoshinaga	(Associate Member)	Assistant Professor, Department of Applied Life Sciences, Graduate School of Agriculture, Kyoto University
Shingo Ebata	(Designated Associate Member)	Professor, Office of Strategic Management, Tokyo Institute of Technology
Sota Kimura	(Designated Associate Member)	Professor, Faculty of Law, Tokyo Metropolitan University
Ryuma Shineha	(Designated Associate Member)	Associate Professor, Research Center on Ethical, legal, and Social Issues, Osaka University
Hirofumi Shintaku	(Designated Associate Member)	Professor, Institute for Medical and Biological Research, Kyoto University

Kazuya Tanaka	(Designated Associate Member)	Research Fellow, GRIPS Alliance, National Graduate Institute for Policy Studies
Saeko Terada	(Designated Associate Member)	Lecturer, College of Liberal Arts, Tamagawa University
Tomoya Hanibuchi	(Designated Associate Member)	Associate Professor, Graduate School of Letters, Kyoto University
Sachiko Hirata-Mogi	(Designated Associate Member)	

The following staff members provided administrative support in the preparation of this advisory opinion.

SCJ Secretariat	Noriyoshi Masuko	Director, Division for Scientific Affairs I
	Hiroshi Yamada	Deputy Director, Division for Scientific Affairs I
	Kouki Takeda	Official, Division for Scientific Affairs I

Executive Summary

1 Rationale for this Statement

The innovation landscape in Japan is reaching a critical juncture as its global prominence in science and related fields declines. For a nation with limited resources, sustained innovation is crucial to fostering new values and ensuring a prosperous future, both materially and culturally. Young Academy of Japan, which belongs to Science Council of Japan, is a unique body composed of researchers under the age of 45 who conduct cutting-edge research in diverse fields spanning humanities, social sciences, and natural sciences. Young Academy of Japan is poised to conduct innovation over the next two decades from an academic perspective. Thus, Young Academy of Japan has assessed the barriers to innovations holistically and considered possible remedies. Based on these interdisciplinary deliberations, we have identified ten issues and formulated recommendations for solving them.

2 Current Status and Challenges

To promote innovation over the next 20 years from scientific and academic perspectives, it is essential to bridge the gap between academic disciplines, strengthen collaboration with local stakeholders, and enhance international collaboration. All of them are based on a foundation built on accumulating knowledge and technology in basic and traditional fields. Despite these goals, the foundation that supports innovation is eroding due to intense competition for research funding and positions, an overreliance on quantitative metrics that are ill-suited to exploring research such as interdisciplinary and regional collaborative studies, diminished stable funding such as basic expenses, insufficient technical professionals and administrative staff, and a deteriorating research environment due to overwhelming workloads. This not only depletes the time and mental bandwidth needed to address the academic issues, but has also curtailed research on important academic issues, regional challenges, and international collaborations. In addition, these are driving an exodus of talent and reducing the number of graduate students. To be truly innovative, there is an urgent need to support a diverse cohort of graduate students - the future torchbearers of innovation - and to create career paths that enable researchers to work across fields and sectors. The academic sector needs to critically assess its current state and implement profound improvements to its research environment. Swift action on these fronts will catalyze interdisciplinary studies, international collaboration, and regional collaboration, paving the way for innovative leaps in the next two decades (Figure 1).

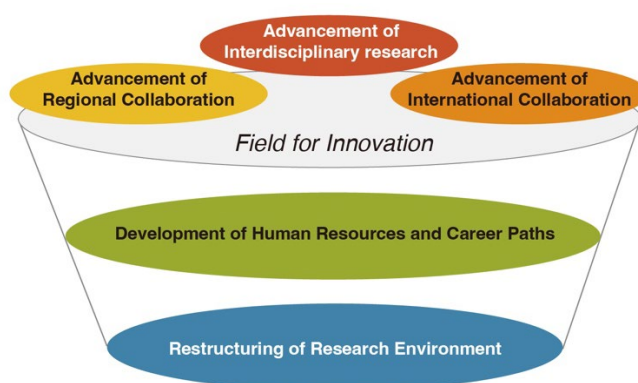


Figure 1 Five areas that need to be addressed to foster innovation

3 Content of the Advisory Opinion

The following are ten pressing issues that must be addressed immediately to foster innovations by envisioning academia and society in the coming 20 years (Figure 2).

(1) Cultivating fundamental and traditional knowledge and technology

Cultivation and accumulation of knowledge and technology in fundamental fields is the fertile

ground for innovations.

(2) Strengthening evaluation and support for interdisciplinary research and regional collaboration with local stakeholders

A system for evaluating academic ventures aimed at interdisciplinary research and solving regional challenges needs staffing and budgeting.

(3) Enhancing core facilities with Ph.D. holders

Strengthening core facilities with skilled technical personnel with doctoral degrees is needed to promote innovations and expand career paths of Ph.D. holders.

(4) Cultivating a cross-sector collaborative ecosystem

A system to let academia, industry, government, and local stakeholders collaborate to address interdisciplinary challenges is needed.

(5) Enhancing foundational funding and research support personnel

We see a paradoxical situation where competitive funds are underutilized due to a lack of foundational expenses and human resources.

(6) Establishing career paths in science diplomacy

Cultivating individuals capable of spearheading science and technology diplomacy and developing their career trajectories are important.

(7) Overcoming the "zero-failure" bureaucratic mind in science management

To truly drive innovation, it is imperative to move beyond the bureaucratic mindset. It is necessary to understand and accept inherent risks of pioneering work.

(8) Reducing the burden of education on households

To stem the decline in the number of graduate students, it is essential to substantially reduce the financial burden of education on families.

(9) Breaking free from the "activity traps" of academia

It is essential to change the culture that appreciates the relentless effort and refine its operations to ensure alignment with its core objectives.

(10) Promoting inter-sectoral career paths for Ph.D. holders

It is imperative to promote the integration of specialized expertise across sectors, increase job mobility, and promote job-based employment.

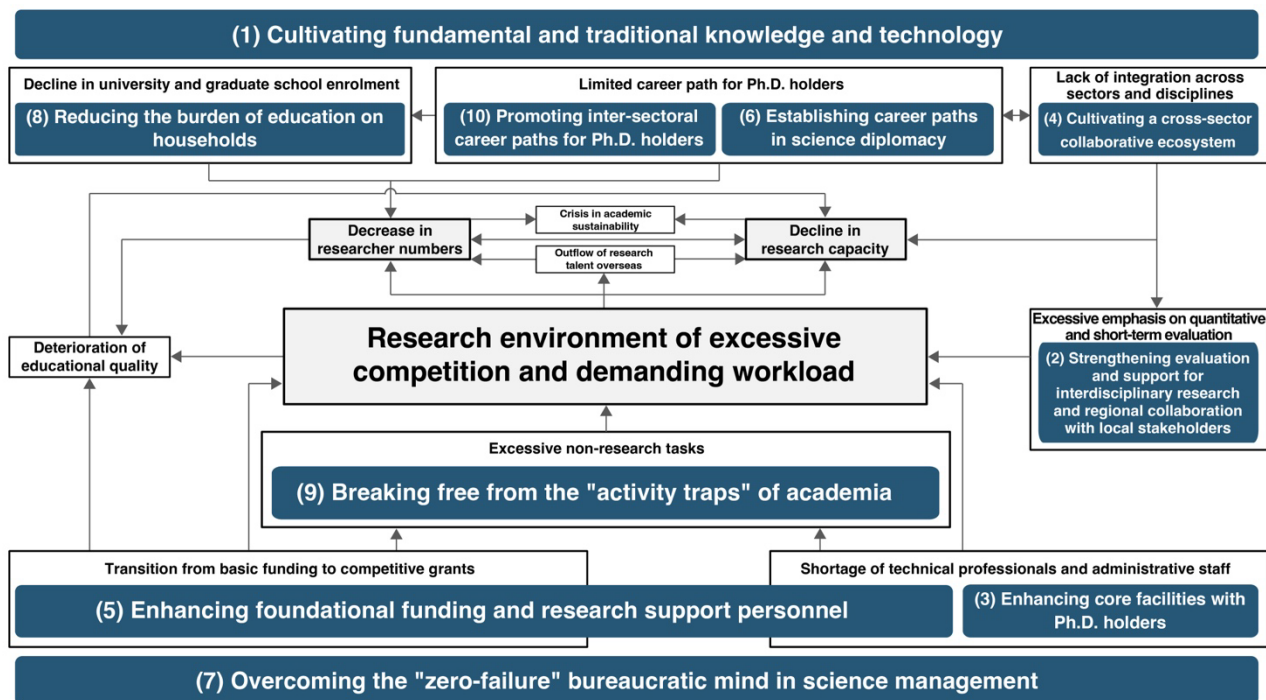


Figure 2 Ten Recommendations for Science and Society in 2040